



Admissions Application Guide

·秋季入学(令和6年(2024年)10月入学)

• Fall Admission (October 2024)

一般入試 **General Admission** 社会人入試 Admission for Working Adults 外国人留学生入試 Admission for International Students

> 令和6年(2024年)6月 June 2024



ー 目 次 ー CONTENTS

CONTENTS	
~	ページ page
大分大学大学院工学研究科博士後期課程入学者受入れの方針(アドミッション・ポ	リシー : AP)
Oita University Graduate School of Engineering Doctoral Program Admission Policy $\cdots 1$	(3)
大分大学大学院工学研究科博士後期課程学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー:[) DP)
Oita University Graduate School of Engineering Doctoral Program Diploma Policy $\cdots 5$	(6)
<秋季入学>令和6年(2024年)10月入学	
Fall Admission: October 2024	
1. 入 試 日 程 Entrance Examination Schedule	(20)
2.募集人員 Admission Quotas	(20)
3. 出 願 資 格 Admission Eligibility	(20)
(一般入試及び社会人入試、外国人留学生入試)	
(General Admission, Admission for Working Adults, Admission for International Students)	
4. 入学者選抜方法の区分 Examination Type······8	(21)
5. 出願手続 Application Procedure·······8	(21)
6. 入学者の選抜方法 Screening Method······· 10	(24)
7. 合格者発表 Announcement of Results	(25)
8. 入 学 手 続 Enrollment Procedure······ 11	(25)
9. 入学料及び授業料 Enrollment and Tuition Fees・・・・・・ 11	(25)
10. 注 意 事 項 Important Notes····································	(26)
<共通事項>Information for all Applicants	(07)
大分大学大学院工学研究科博士後期課程出願資格認定について・・・・・ 13	(27)
Application Eligibility Screening	(27)
長期履修制度について Long-term Study System	(27) (27)
障がいのある有等の事前相談についてになった。 Advance Consultation for Applicants with Disabilities, etc.	$(\mathbf{Z}\mathbf{I})$
育児支援サービス補助事業 Childcare Support Subsidy ········· 14	(28)
博士後期課程教育研究分野····································	(28)
時工後期就性致良妙无力對 Education and Research Areas in Doctoral Programs	(20)
1. コースの概要	
Outline of the Majors	
2. 博士後期課程の授業科目及び研究課題のキーワード	
Doctor Course Education, Research Areas and Subjects, Keywords	
大分大学位置図及び学内案内図 Oita University Location and Campus Map・・・・・・ 30	(30)
	(00)

大分大学大学院工学研究科博士後期課程 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー:AP)

基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献すると ともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することです。

教育・研究の目標

本学の教育・研究の目標を踏まえ、工学研究科博士後期課程においては、各専攻分野における高度で かつ最先端の知識を身につけ、独立して研究を展開し、国際的に活躍できる指導的技術者・研究者を育 成します。

求める学生像

前述の目標を達成するために、工学研究科博士後期課程においては次のような意欲と熱意をもってい る人を求めます。

- 1. 科学技術を深く探求し、独創的研究に取り組む意欲をもっている人
- 2. 新たな分野や理論の創出に意欲をもっている人
- 3. 国際的視野や感覚をもち、世界的研究をめざしている人
- 4. 人間性が豊かで、人類福祉に貢献しようとする志をもっている人

入学者選抜の基本方針

本研究科では、前述の「求める学生像」にふさわしい人を選抜するために、一般入試のほかに特別 入試(社会人、外国人留学生)を実施し、学生を選考します。

· 一般入試

志望する研究分野の基礎となる科目の筆記試験、修士論文又は研究成果、志望する研究分野に関する科目、入学後の研究計画等についての口述試験及び書類審査の結果を総合して判定します。

・社会人入試

志望する研究分野に関する専門科目、研究業績、入学後の研究計画等についての口述試験と書類審査の結果を総合して判定します。また、研究計画書及び職務履歴書について試問します。

• 外国人留学生入試

一般入試に準じます。

各選抜試験で重視する観点

			求める学生像							
			 1.科学技術 を深く探求 	 3.新たな分 野や理論の創 	3.国際的視 野や感覚をも	4. 人間性が 豊かで、人類				
	入詞	《区分	し、独創的研 究に取り組む	福祉に貢献し ようとする志						
			意欲をもって いる人	っている人	究をめざして いる人	ようこう Sill をもっている 人				
	書類審査		0	0						
一般入試	学力検査	筆記試験	0		○*					
цъх		口述試験	Ø	\bigcirc	○*	0				
社会人入試	書類審査		0	0						
入武	学力検査((口述試験)	Ô	Ô	0	0				
外国	書類審査		0	0						
外国人留学生入試	学力検査	筆記試験		0*						
入試		口述試験	Ø	Ø	0*	0				

◎は、特に重視する

※筆記試験又は口述試験の中で問います

Oita University Graduate School of Engineering Doctoral Program Admission Policy

Mission Statement:

The first aim of the Doctoral Program is to conduct high-quality research, and to provide quality education that will develop student creativity. The second aim is to achieve global standards of science and technology which will enable researchers to make significant contributions to the local community.

Educational and Research Objectives:

In line with the educational and research objectives of the university as a whole, the objective of the Doctoral Program is to train leading technical experts and researchers who would gain advanced and high-technology knowledge in their respective fields of specialization and capable of engaging in independent research and playing active roles internationally.

Required Qualifications:

In order to achieve the above mentioned aims, we seek candidates who have an interest in and passion for scientific research.

- 1. Candidates should show an eagerness to engage in meaningful scientific and technological inquiry, and also have the ability to pursue original and creative research.
- 2. Candidates should have the potential to formulate new fields and theories.
- 3. Candidates should have a cosmopolitan outlook and a desire to pursue research in the global arena.
- 4. They should have a sense of understanding humanity and be motivated to make contributions to the welfare of mankind.

Selection Process for Admission:

In order to accept candidates who have the necessary qualifications listed above, the Graduate School administration will screen applicants by means of general admission and by means of admissions for working adults and international students.

General Admission

Candidates will be selected on the basis of a comprehensive assessment of their performance on subjects related to their intended research fields in doctoral courses and on interviews on Master's theses or other research achievement and written document screenings concerning subjects related to their intended research fields and their plans for research after admission.

• Admission for Working Adults

Candidates will be selected on the basis of a comprehensive assessment of their performance in interviews and written document screenings concerning subjects related to their intended research fields, research achievements and plans for research after admission. They will also be questioned on their research proposals and work histories.

• Admission for International Students Applicants will be assessed in accordance with the procedures for general admission. Perspectives emphasized in the examination

				Candidates t	to be selected	
En	trance ex classifie	amination cation	1.Candidates should show an eagerness to engage in meaningful scientific and technological inquiry, and also have the ability to pursue original and creative research.	2. Candidates should have the potential to formulate new fields and theories.	3.Candidates should have a cosmopolitan outlook and a desire to pursue research in the global arena.	4.They should have a sense of understandin g humanity and be motivated to make contributions to the welfare of mankind.
Document screening		0	0			
General Admission	Examin	Written examination	0		0*	
General	ation	Oral examination	Ø	Ø	0*	0
Admission for Working	Document	t screening	0	0		
Admiss: Worl	Oral exa	amination	Ø	Ø	0	0
for 1a1	Document	t screening	0	0		
Admission for International	Examin	Written examination	0		○*	
	ation	Oral examination	Ø	© C		0

©: Especially important

₩By written or oral examination.

大分大学工学研究科博士後期課程学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー:DP)

大分大学大学院工学研究科では、所定の期間在籍し、所定の単位を修得し、以下の能力を身につけ た上で、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士(工学)を授与する。

- 1. 各専攻分野における高度でかつ最先端の知識を身につけ、独立して研究を展開することができる。
- 2. 社会のイノベーションにつながる新たな分野や理論などの創出に取り組むことができる。
- 3. 国際的視野やコミュニケーション能力をもち、かつ世界に通用する科学技術を創造することができる。
- 4. 高い倫理観を持ち、人類福祉に貢献することができる。

Oita University Graduate School of Engineering Doctoral Program Guidelines for Degree Conferral (Diploma Policy)

The Oita University Graduate School of Engineering confers a PhD (Engineering) degree to persons who are enrolled in the program for a prescribed period, have earned a prescribed number of credits, and have cultivated the following qualities and passed a doctoral thesis assessment and final examination.

1. Possess high-level and leading-edge knowledge in various fields of specialization, and are capable of conducting research independently.

2. Capable of working creatively by developing new areas of knowledge and theory that leads to socially relevant innovation.

3. Possess a global perspective and communication ability and are capable of working creatively in science and technology at international level.

4. Maintain high ethical standards and contribute to human well-being.

秋季入学

(令和6年(2024年)10月入学)

1. 入試日程

出願期間	令和6年(2024年)7月29日(月)~令和6年(2024年)8月5日(月)
試験日	令和6年(2024年)8月23日(金)~令和6年(2024年)8月30日(金)
合格者発表	令和6年(2024年)9月18日(水)

2.募集人員

コース名	募集人員					
111人名	令和6年(2024年)10月入学					
物質生産工学コース	若干名					
環境工学コース	若干名					

※ 募集人員の中には、各コースとも社会人入試の人員を含みます。

※ 外国人留学生入試による募集人員は若干名とし、私費外国人留学生は定員内とします。

3. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1)修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和6年(2024年)9月までに取得見込みの者
- (2)外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年(2024 年)9月までに授与される見込みの者 ※(注1)参照
- (3) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年(2024年)9月までに授与される見込みの者
- (4)国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年 法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立され た国際連合大学(以下「国際連合大学」という。)の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を 授与された者
- (5)外国の学校、出願資格(3)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、 大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有 する者と同等以上の学力があると認められた者
- (6)大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等 において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士 の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者 ※(注2)参照
- (7)本学大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同 等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者 ※(注3)参照
- ※(注1)

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職 学位に相当する学位を授与された者を含む。

※(注2)

「出願資格の(6)」は、修士の学位を有しない者も、大学卒業の資格を有する者であれば、大 学卒業後に大学や研究所等において、2年以上研究に従事した場合には、その研究の成果等につ いて入学を希望する大学院が個別に審査して、「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以 上の学力がある」と認めた場合には、当該大学院が行う博士後期課程の入学試験の受験を認める ものです。(以下、「出願資格認定」といいます。)

※(注3)

「出願資格の(7)」については、大学卒業資格を有しない者でも、短期大学、高等専門学校、 専修学校、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であって、24歳以上の者は、大学院が 行う個別の「出願資格認定」を受け、当該大学院博士後期課程の入学の出願を行うことができる としているものです。 ◎ 「出願資格の(6)~(7)」により受験する場合、その他、出願資格について疑問がある場合は、 出願前に、入試課に問い合わせてください。また、「出願資格認定」の手続きについては、13 ページの「大分大学大学院工学研究科博士後期課程出願資格認定について」を参照してください。

4. 入学者選抜方法の区分

入学者選抜方法及びその受験資格は次のとおりです。

(1) 一般入試

上記「3.出願資格」(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)又は(7)のいずれかに該当する者 で社会人入試及び外国人留学生入試を希望しない者

- (2) 特別入試
 - 社会人入試

次のいずれかに該当する者で社会人入試の受験を希望する者

- ・出願資格(1)、(2)、(3)又は(4)に該当する者で、大学卒業後、企業等に2年以上正 規職員として勤務中であり、在職のまま入学を希望する者
- ・出願資格(6)に該当する者で、大学卒業後、企業等に4年以上(上記(6)による研究に 従事した2年以上の期間を含む。)正規職員として勤務中であり、在職のまま入学を希望する 者
- ・出願資格(7)に該当する者で、当該学校等卒業後、企業等に4年以上正規職員として勤務 中であり、在職のまま入学を希望する者
- ② 外国人留学生入試 出入国管理及び難民認定法別表第1に定める「留学」の在留資格により在留する者又は在留し ようとする外国人で、外国人留学生入試の受験を希望する者

5. 出願手続

(1) 出願受付期間

令和6年(2024年)7月29日(月)から8月5日(月)までの間(土曜日、日曜日を除く) 受付時間は、9時から17時まで

なお、郵送による場合は、8月5日(月)17時必着とします。

- (2) 出願方法
 - 出願を希望する者は、あらかじめ志望する専攻の希望する指導教員と研究内容等について相談の上、出願してください。
 - ② 入学志願者は、下記の出願書類等を一括し、持参又は郵送により提出してください。
 なお、郵送の場合は、所定の封筒を用い、必ず速達書留郵便としてください。
 提出先 〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課

(3) 出願書類等

◎ 一般入試

◎ 一叔八武	
入 学 志 願 書 受 験 票	本学所定の用紙に、必要事項を記入し、上半身正面向きの写真(4cm×3cm) を所定欄に貼付してください。
修了 (見込) 証 明 書	出身大学長(研究科長)が作成したもの (令和6年(2024年)9月本研究科博士前期課程修了見込者は提出する必要 はありません。)
成績証明書	出身大学長(研究科長)が作成し厳封したもの
修 士 学 位 論 文 の 要 旨	本学所定の様式に 2,000 字(英語の場合は 700words) 以内で記入してください。 ただし、博士前期課程又は修士課程修了見込みの者は、修士論文の題目とその研究の進捗状況について要約したもの なお、関連した論文又は学術講演、特許等がある場合は、その写しを添付し てください。
研 究 (希 望) 計 画 書	本学所定の様式に、希望する研究テーマ又は分野に関して、その目的及び構想について研究指導を希望する教員と相談のうえ 1,000 字(英語の場合は 500words) 以内で記入してください。
入学検定料払込 証 明 書 (30,000円)	以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。 ①金融機関(郵便局又はゆうちょ銀行を含む)での払込 本学所定の振込用紙を用い、金融機関(郵便局又はゆうちょ銀行を含む)窓 口で振込手続を行ってください。 ②コンビニエンスストア(一部)での払込 本学ホームページ https://www.oita-u.ac.jp/ から払込専用ホームページへアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、 指示に従い払込手続を行ってください。 (払込専用URL) https://www.oita-u.net/ (携帯電話用URL) https://www.oita-u.net/ (携帯電話用URL) https://www.oita-u.net/mobile/ ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは アクセスできないことがあります。 振込み後は、①の場合は「郵便振替払込受付証明書(大学提 出用)」を、②の場合は収納証明書(コンビニによっては領 収書)を、受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。手数料 は本人負担です。 ただし、国費外国人留学生(国内採用者を除く)及び令和6年(2024 年)9月 に本学研究科博士前期課程又は修士課程を修了見込みの者で、引き続き本課程 に進学する者は納付する必要はありません。
受験票返送用封筒	本学所定の封筒に住所・氏名・郵便番号を記入し、344円切手を貼付してください。郵便料金が変更になった時は、新しい速達料金の切手を貼ってください。
合格通知用 住所シール	本学所定の用紙に記入してください。

(注)1. 出願資格(6)~(7)に該当する者で修士の学位を有しない者は、「修了証明書」、「成績証明書」、「修士学位論文の要旨」を提出する必要はありません。

2. 証明書は原本(ORIGINAL)とし、複写(COPY)は無効とします。

◎ 社会人入試

本要項9ページの「一般入試の出願書類」に定めるもののほかに、下記の書類を提出してくださ

 b_{\circ}

職務履歴書 (その1職務内容)	本学所定の様式に、職務内容、学術論文、研究報告、著書、 特許・実用新案等社会における研究活動状況を示すものを記入
職務履歴書 (その2論文・発表・特許等)	してください。
入学承諾書	本学所定の様式に、勤務先の所属長等が作成したもの

◎ 外国人留学生入試

本要項**9**ページの「一般入試の出願書類」に定めるもののほかに、下記の書類を提出してください。

住民票記載事項証明書	在留資格、在留期間の記載されたもの(発行申請時に申し出 が必要)在留カード又は外国人登録書の写し(裏表とも)でも 可 出願時に提出できない者は、パスポートの写し(顔写真があ るページ)を提出し、入学時までに本証明書を提出してくださ い。
国費外国人留学生 証 明 書	外国人留学生で、日本政府(国費)の留学生は、それを証明 するものを添付してください。(出身大学の担当部署の証明と し、様式は問いません。)

6. 入学者の選抜方法

- (1) 選抜方法の内容
 - 一般入試 選考は、学力検査及び書類審査により行います。
 学力検査は、筆記試験及び口述試験により行います。
 - ② 社会人入試 選考は、学力検査及び書類審査により行います。
 学力検査は、口述試験により行います。
 - 3 外国人留学生入試 一般入試に準じて行います。

※英語の能力を筆記試験又は口述試験のなかで問います。

- (2) 筆記試験の内容
 - 専門科目(志望する研究分野の基礎となる科目)
- (3) 口述試験の内容
 - ① 一般入試における口述試験 口述試験は、修士論文(修了見込みの者は研究の進捗状況)又は研究成果、志望する研究分野 に関する科目、入学後の研究計画等について行います。
 - ② 社会人入試における口述試験は、志望する研究分野に関する専門科目、研究業績、入学後の 研究計画等について行います。
 - また、研究計画書及び職務履歴書について試問します。
 - ③ 外国人留学生入試における口述試験は、一般入試における口述試験に準じて行います。

(4) 学力検査の日時、場所等

- 学力検査の日時
 - イ. 一般入試及び外国人留学生入試

期日	試験区分 試験時間
令和6年(2024年)8月23日(金)から 令和6年(2024年)8月30日(金)の間の	筆記試験 9:00~12:30
〒和0平(2024平)8月30日(壶)の間の 1日	口 述 試 験 13:30~

(注1) 試験日は希望する指導教員と相談のうえ決定してください。

- (注2) 試験時間は変更になることがあります。
- (注3) 令和6年(2024年) 9月に本研究科博士前期課程を修了見込みの者は、筆記試験を免除 します。
- (注 4) 海外居住者で、試験のために来日することができない場合は、事前に指導教員に相談の上、 研究科の許可を得た場合に限り、上記に代えてインターネット回線による口頭試問を行うこ とがあります。
- 口. 社会人入試

期日	試 験 区 分	試 験 時 間
令和6年(2024年)8月23日(金)から 令和6年(2024年)8月30日(金)の間の 1日	口 述 試 験	13:30~

- (注1) 試験日は希望する指導教員と相談のうえ決定してください。
- (注2) 試験時間は変更になることがあります。
- ② 検査場 大分大学理工学部 大分市大字旦野原 700 番地

7. 合格者発表

令和6年(2024年)9月18日(水)午前10時に本学ホームページ(https://www.oita-u.ac.jp/) に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

なお、電話による合否の問い合わせには一切お答えできません。

出願資格(1)、(2)又は(3)に該当する者で、出願時に修士の学位、専門職学位、修士の学位 に相当する学位又は専門職学位に相当する学位を取得見込みの者については、入学手続時に修了証明 書を提出することが入学要件です。修士の学位、専門職学位、修士の学位に相当する学位又は専門職 学位に相当する学位を取得できない場合には入学資格はありません。

8. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続きに必要な案内を送付します。

9. 入学料及び授業料

- 入学料 282,000 円
 - (注)入学料については、国費外国人留学生(国内採用者を除く)及び令和6年(2024年)9月 に本学研究科博士前期課程又は修士課程を修了し、引き続き本課程に進学する者は納付す る必要はありません。

授業料 535,800 円(前期分 267,900 円 後期分 267,900 円)

- 入学料については、免除・徴収猶予の制度が、授業料については免除の制度があります。免除・ 徴収猶予の申請は入学手続き期間に行う必要がありますので、詳細については学生・留学生支 援課奨学支援係(TEL 097-554-7386)までお問い合わせください。
 入学料・授業料は、改正されることがあります。
- 乙字科・授美科は、改正されることかあります。
 なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改正後の授業料が適用されます。
- 3. 既納の入学料は返還できません。

- 4.入学料の免除・徴収猶予を申請される方は、入学料を払い込まずに入学手続期間に申請書類を 提出してください。ただし、入学手続き完了後に入学を辞退した場合は、直ちに入学料を納付 しなければなりません。
- 5. 国費外国人留学生(国内採用者を除く)については、授業料を納付する必要はありません。

10. 注意事項

(1) 一般入試及び外国人留学生入試における筆記試験受験者は、試験当日8時40分までに理工学部 学務係に集合してください。

社会人入試受験者の集合時間と場所は、希望する指導教員に確認してください。

- (2) 出願書類等の不備なものは受理しません。
- (3) 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- (4)本学所定の用紙に記入の際は、パソコン又はワープロ等を使用しても差し支えありません。
- (5)出願書類様式中、「修士学位論文要旨」、「研究(希望)計画書」、「職務履歴書」(社会人入試用)、 「入学承諾書」(社会人入試用)、「出願資格認定願書(出願資格認定用)」、「出願資格認定審査調書」 (出願資格認定用)、「研究業績調書」(出願資格認定用)については、本様式に準じて、パソコン又 はワープロ等を使用して別途作成したものを使用することは差し支えありません。

なお、マイクロソフトワード文書ファイル(windows 版)で作成した上記出願書類様式の配布を 希望される方は、大分大学ホームページからダウンロードできます。詳細は入試課(TEL 097-554 -7006)へ問い合わせてください。

- (6)入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、個人情報の保護に 関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学者選抜に係る業務・統 計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除(猶予)及び奨学 金を申請した者にあっては、選考資料として利用することがあります。
- (7)記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (8) 改姓により、現在の氏名と各種添付書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本を提出してください。
- (9) 災害に関する特別措置(入学検定料等)につきましては、本学ホームページ(https://www.oitau.ac.jp/)でお知らせします。

共 通 事 項

- ・大分大学大学院工学研究科博士後期課程
 出願資格認定について
- ・長期履修制度について
- ・障がいのある者等の事前相談について
- •育児支援サービス補助事業
- ·博士後期課程教育研究分野
- ・大分大学位置図及び学内案内図

大分大学大学院工学研究科博士後期課程出願資格認定について

1. 修士の学位を有しない者で**7**ページの「出願資格(6)又は(7)」の「出願資格認定」により出願 する者は、出願する前に工学研究科の行う「出願資格認定」を受ける必要があります。事前に、電話 等により入試課に申し出のうえ、別添「出願資格認定願書」に「出願資格認定審査調書」、「研究業績 調書」、卒業証明書並びに論文等の別刷又は写し(各1部又は1冊)を添付し、下記期間までの間に入 試課へ提出してください。(なお、論文等の別刷又は写しについては、返却します。)

また、別添出願資格認定願書等のマイクロソフトワード文書ファイル (windows 版) の配布を希望 する場合は、大分大学ホームページからダウンロードできます。詳細は入試課 (TEL 097-554-7006) へ問い合わせてください。

令和6年(2024年)7月1日(月)~令和6年(2024年)7月5日(金)

2. 出願資格認定の結果は、令和6年(2024年)7月22日(月)までに通知します。

3. 出願手続は、出願資格認定の結果を受けてから行ってください。

長期履修制度について

大分大学大学院工学研究科博士後期課程においては、社会人入学者等について、長期履修を認めています。

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、常時大学で勉学することが困難な学生に対して、標準修業年限(博士後期課程は3年)を超えて、3年6月以上6年以内の希望する期間で計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。この間の授業料は、履修期間に応じて 按分することとしています。

長期履修制度を適用される者は次に掲げる学生です。

1 社会人学生

2 研究科長が特に必要と認めた学生

長期履修を希望する場合は、入学手続き時又は入学後1年以内に申請することとしています。

障がいのある者等の事前相談について

本学へ入学を志願する者のうち、障がいのある者等で、受験上及び就学上特別の配慮を必要とする 場合は、令和6年(2024年)8月5日(月)までに、下記の事項を記載して(様式任意)、医師の診 断書を添え入試課に提出してください。

- ・障がいの種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・修学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況及びその他参考となる事項

育児支援サービス補助事業

育児と学業との両立を支援することを目的とし、育児支援サービスを利用する際の料金の一部 を大学が負担する事業があります。詳細については、男女共同参画推進室(TEL 097-554-8573、 E-mail fsupport@oita-u.ac.jp)までお問い合わせください。

博士後期課程教育研究分野

1. コースの概要

【物質生産工学コース】

現代社会を構成する機能要素としての物質の機能の解明、生産技術の開発、さらに物質に付加された 各種の情報の生産と処理技術に関する教育研究を行います。

科学技術の発展は、新しい物質の発見と、それを生産する技術の改良によって支えられてきました。 新規な機能を有する物質の発見と効率的生産がさらに新しい技術を生み出し、大量生産を可能にすると ともに産業の発展を促してきました。近年は先端技術分野で用いられる物質に対する要求が高度化し、 従来とは異なった発想に基づく創造的生産技術が求められています。これからは、個々の過程を別個に とらえるのではなく、高い機能を有する物質の設計から機能を発現させる製造技術、そして高品質大量 生産を可能にする生産プロセスまで、一つのシステムとしてとらえることが必要です。本コースは、新 規な物質の開発と生産技術、及びシステム化をめぐる課題を取り上げて教育研究を行います。

物質生産工学コースにおける3大分野の概要は次のとおりです。

〇応用化学分野

従来からある無機材料・有機材料・高分子材料の高機能化及びそれらの複合化、ニューセラミック ス、磁性材料などの新素材やエネルギー変換材料の合成・設計・評価、物質の構造と機能の関係、さ らに、生体、生体関連物質及び生体模倣材料の創成・設計・評価など、今後の技術革新の鍵を握る高 機能性材料の合成及び機能発現に関する教育研究を行います。

〇機械工学分野

我が国の産業を支える革新的な「ものづくり」に必要不可欠である「機械工学」を構成する4力学 (材料力学、機械力学、流体力学、熱力学)を中心とし機械工学の幅広い分野に及ぶ最新の教育研究 を行います。特に産業界の要請に応えうるべく、高度でかつ即戦力の技術者育成を目指します。

〇電気電子工学分野

高度情報化社会を発展させるうえで必要となる電気・エネルギー、エレクトロニクス、情報通信、 電子デバイス材料およびそれらの学際的分野に関し、磁性材料・誘電材料の開発、効率的なエネルギ ー発生・輸送・貯蔵法の開発、放電プラズマの計測・制御、高速光通信、半導体材料の開発・評価、 など先端技術の教育研究を行います。また、これらの研究分野では、非線形要素からなる複雑なシス テムを取り扱うため、数理科学に基づいた非線形システムの計測・解析・制御に関する基礎的な教育 研究も行います。

【環境工学コース】

人類の諸活動が環境に与えるインパクトを解明するために、快適な環境の計画と設計、さらに知的活動の支援や環境をコントロールするための情報システムに関する教育研究を行います。

科学技術の進歩とともに生産活動が活発になるのに伴い、人間を取り巻く環境は急速に変化していま す。無限とも思われてきた環境容量を超える生産活動は、今や地球規模で環境に重大な影響を及ぼしつ つあり、調和のとれた発展が強く望まれます。一方、情報化社会の到来・生活水準の高度化などに伴い、 快適な生活環境に対する要求が強くなっています。このような社会の要求に応えるためには、単なる問 題解決型の取り組みのみによるものではなく、快適な自然環境と調和の取れた人工環境の創造という視 点に立った人間工学的、情報・システム科学的観点からのアプローチが必要です。本コースは、環境を めぐる種々の課題について、人間環境、環境情報の観点から取り上げて教育研究を行います。

環境工学コースにおける2大分野の概要は次のとおりです。

○建築学分野

快適な生活環境の設計、福祉環境の向上を図るための住環境及び施設計画、さらに構造設計・耐震 設計、建築材料と施工技術、都市全体としての環境計画、資源と環境のかかわりなどの教育研究を行 います。

〇情報工学分野

情報構造の数理的な解析を基盤としながら、高速ネットワークの活用を通して情報の協調や連携 を行う手段を探ります。さらに、並列計算機システムの制御技術を利用して、人間の知的活動の支 援や情報化社会の構築に応用を図ります。それぞれの教育研究分野との緊密な連携により、種々の 情報を互いに独立したものではなく、一つのシステムとしてとらえることを目指します。

2. 博士後期課程の授業科目及び研究課題のキーワード 2. Doctor Course Education, Research Areas and Subjects, Keywords

く 番 [:]		分野	授業科目	研究課題のキーワード	教員名	Di	plom	a pol	icy	単位	
on 🔤	-	field	Class Subject	Keyword of the Research Theme	Instructors	1	2	3	4	Cred	
1			物質生産工学実習 I	実際の問題や課題に対する問題解決能力や実践的能力を身に付けるために、本学産 学官連携推進機構あるいは公設及び民間の研究機関等において、指導教員の指導 のもとに一定期間所属講座に関連する専門分野の研究開発業務に従事する。	博士後期課程指導教員	0	0	0	0	2	
			Advanced Practice in Material Production I		advising professor						
2	:	コース共	物質生産工学実習 Ⅱ	実際の問題や課題に対する問題解決能力や実践的能力を身に付けるために、本学産 学官連携推進機構あるいは公設及び民間の研究機関等において、指導教員の指導 のもとに一定期間博士論文のテーマに直接関連する専門分野の研究開発業務に従 事する。	博士後期課程指導教員	0	0	0	0	2	
		通	Advanced Practice in Material Production II		advising professor						
3	;		物質生産工学実習Ⅲ	企業における様々な技術課題を解決する実践的能力を養成するために、指導教員の 指導のもとに地域企業等の長期インターンシップを含む共同研究の場において一定期 間企業等の技術課題に関連する研究開発業務に従事する。	博士後期課程指導教員	0	0	0	0	2	
			Advanced Practice in Material Production III		advising professor						
			高分子材料工学特論	高機能・高性能高分子材料、高分子液晶、液晶材料、無機/有機ハイブリッド材料、機能性有機材料	氏家 誠司	0	0	0	0	2	
4	'		Advanced Polymer Materials	Fuctionalized and High Performance Polymer, Polymer Liquid Crystal, Liquid Crystal, Inorganic/Organic Hybrid Material, Fuctional Organic Material	Seiji Ujiie	0	0	0	0		
			抗体工学特論	抗体,免疫,細胞工学	一二三 恵美			~			
5		応 用	Advanced Antibody Engineering	Antibody, Immunity, Cellular Biology	Emi Hifumi	0	0	0			
		化学	理論有機化学特論	物理有機化学, 高圧化学	大賀 恭						
6	1	÷	Advanced Theoretical	Physical Organic Chemistry, High Pressure Chemistry	Yasushi Oga	0					
\vdash	\dashv		Organic Chemistry 有機分子機能解析特論	分析化学、レーザー化学、量子化学、匂い科学	井上 高教			-	\vdash	-	
7			Mechanistic Investigation of	Analytical Chemistry, Laser Chemistry, Quantum Chemistry, Aroma Research	Takanori Inoue	0					
-	_		Organic Molecules	化学工学、分離工学、環境工学、食品工学、バイオプロセス、発酵、リサイクル	平田 誠						
8			生物生産工学特論 Advanced Bioproduction	12子エ子, 万離エ子, 環境エ子, 艮面エ子, ハイオフロセス, 光時, リリイクル Chemical Engineering, Separation Engineering, Environmental Engineering,		0	0				
	_		Engineering	Food Engineering, Bioprocesses, Fermentation, Recycling	Makoto Hirata						
9			有機材料工学特論 Advanced Organic	有機材料, 有機合成, 光化学, 超分子化学	守山 雅也	0	0	0			
			Materials Engineering	Organic Materials, Organic Synthesis, Photochemistry, Suparamolecular Chemistry	Masaya Moriyama					 	
10	D		分子分光学特論	分光学,構造物理化学,偏光解析,キラル化学	原田 拓典	0	0	0	0		
			Advanced Molecular Spectroscopy	Spectroscopy, Physical and Structural Chemistry, Polarization Analysis, Chiral Chemistry	Takunori Harada	-	-	-	-		
11			環境材料化学特論	酸素吸藏•放出材料, 環境触媒, 光触媒, 機能性多孔質材料	西口 宏泰	0	0	0	0		
1	1		Environmental Materials Chemistry	Oxygen Storage and Release Material, Environmental Catalyst, Photocatalyst, Functional Porous Material	Hiroyasu Nishiguchi	0	0	0	0		
		Applied	生体有機機能材料特論	グリーンケミストリー, イオン液体, 生体機能材料, 核酸化学, 有機材料, 有機合成	信岡 かおる		0	~			
12			Advanced Bioorganic Functional Materials	Green Chemistry, Ionic Liquids, Biofunctional Materials, Nucleic Acids Chemistry, Organic Materials,Organic Synthesis	Kaoru Nobuoka		0	0		2	
-		Chemistry	電気化学特論	電気化学, 界面, 電池, 電気分解, 電気化学測定, 電気化学材料	衣本 太郎			\vdash		<u> </u>	
13	3	nistr	Advanced Electrochemistry	Electrochemistry, Interface, Electrochemical Power Sources, Electrolysis,	Taro Kinumoto	0	0	0		2	
F		~	環境生物学特論	Electrochemical Measurements, Electrochemical Materials 個体群構造, 集団遺伝, 生態, 進化, 生物保全	北西 滋			\vdash		2	
14	4		Advanced Environmental	Population Structure, Population Genetics, Ecology, Evolution, Wildlife Conservation	Shigeru Kitanishi	0	0	0	0		
-			Biology 応用ソフトマテリアル工学特論	ソフトマテリアル、バイオマテリアル、高分子化学、表面/界面、接着、ソフトトライボロジー	檜垣 勇次			\vdash	┝	+	
15	5		Advanced Soft Material	Soft Materials, Bio Materials, Polymer Chemistry, Surface/Interface, Adhesion, Soft	Yuji Higaki	0	0	0	0	2	
\vdash	_		Engineering 有機π電子系特論	Tribology 物理有機化学,構造有機化学,有機合成	芝原 雅彦						
16	6		有版/电子示符im Advanced Organic p-Elecron			0	0	0		2	
-			Systems	Physical Organic Chemistry, Structural organic chemistry, Organic synthesis	Masahiko Shibahara						
17	7		表面分子化学特論 Advanced Surface Molecular	吸着, 分離, 界面, 細孔体, 結晶	近藤篤	0	0	0			
_			Chemistry	Adsorption, Separation, Interface, Porous solids, Crystal	Atsushi Kondo						
18	в		陸水環境化学特論	地球化学, 環境化学, 水圏化学, 無機化学	江藤真由美	0	0	0	0		
			Limnological Chemistry	Geochemistry, Environmental chemistry, Aquatic chemistry, Inorganic chemistry	Mayumi Eto					2	
19	9		応用振動学特論	自励振動,安定性,摩擦振動,動吸振器	劉孝宏	0	0				
			Applied Theory of Mechanical Vibration	Self-Excited Vibaration, Stability, Frictional Vibration, Dynamic Absorber	Takahiro Ryu	_	-				
20	n	機 械	応用流体力学特論	流体工学, 流体機械, 流体関連振動 騒音, 空力音響	濱川 洋充	0	0	0	0		
20		エ 学	Applied Fluid Mechanics	Fluid Engineering, Fluid Machinery, Flow Induced Vibration and Noise, Aeroacoustics	Hiromitsu Hamakawa	0	0	0			
			反応性ガス流体力学特論	熱工学, 燃焼学, エンジンシステム, 代替燃料	田上 公俊	~	0	~	0		
21			Advanced Reacting Flow Mechanics	Thermal Engineering, Combustion Physics, Engine, Alternative Fuels	Kimitoshi Tanoue	0	0	0	0	0	
F			数值破壊力学特論	破壊力学, き裂解析, 界面の力学	小田 和広	-	-				
22	2		Computational Fracture	Fracture Mechanics, Numerical Crack Analysis, Interface Mechanics	Kazuhiro Oda	0	0	0	0		
┢	+	Mec	Mechanics 数值流体力学特論	乱流の統計理論,数値スキーム,乱流モデル,LES解析	栗原 央流			\vdash		-	
23	3	Mechanical	Computational Fluid Dynamics	Statistical theory of turbulence, Numerical schemes, Turbulent model, Large eddy simulation	Eru Kurihara	0	0				
┢			応用機械力学特論	3. alsocial checky of curbulence, voluence, schemes, rubulenc model, Large eddy simulation 強制振動, 自励振動, 摩擦振動	Eru Kurinara 中江 貴志					-	
24	4	ineer	Applied Theory of Mechanical			0	0				
┢	4	ring	Dynamics	Forced vibration, Self-excited vibration, Frictional vibration	Takashi Nakae			\square		L	
1	5		弾塑性力学特論 Theory of Elasticity and	応力とひずみ, エネルギー原理, 降伏条件, 弾塑性構成式	山本隆栄	0	0				
25				Stress and Strain, Energy Principle, Yield Criterion, Elastic-Plastic Constitutive Relation	Takaei Yamamoto						

コース		分野	授業科目	研究課題のキーワード	研究課題のキーワード 教員名 Diploma po			a poli	су	単位
Division	番号	field	Class Subject	Keyword of the Research Theme	Instructors	1	2	3	4	Credit
				輸送現象論, 数値解析, 熱流体工学	岩本 光生					
	26	機	Advanced Computational	Transport Phenomena, Numerical Computation, Thermal and Fluid Engineering	Mitsuo Iwamoto	0	0	0		2
****		械工	Transport Phenomena 人間動作解析特論		池内 秀降					
物	27	学	Advanced Human	Gait Analysis, Motion Analysis, Ground Reaction Force, Rehabilitation Equipment,	Hidetaka Ikeuchi	0	0	0	0	2
質			Movement Analysis 人間機械学特論	Assistive Technology ロボティクス、メカトロニクス、機能性材料、リハビリテーション工学	菊池 武士				\vdash	
x	28		Advanced Study on	Robotics, Mechatronisc, Functional Material, Rehabilitation Engineering	Takehito Kikuchi	0	0	0	0	2
生		Mec	Human-Machine System 燃焼解析学特論	熱工学、燃焼学、エンジンシステム、反応動力学	橋本淳					
	29	Mechanical		Thermal Engineering, Combustion Physics, Engine, Chemical Kinetics	Jun Hashimoto		0			2
産		cal Er	生体機能設計工学特論	生体力学,医用工学,人工臓器,福祉工学	福永 道彦					
т	30	ngineer	Advanced Study on Biofunctional Design	Biomechanics, Biomedical Engineering, Artificial Organs, Welfare Engineering	Michihiko Fukunaga	0	0			2
		ing	Engineering 機械要素・トライボロジー特論	機械要素,トライボロジー,接触力学,潤滑,表面損傷	大津 健史			+	┝─┨	
学	31		協協要素 ドクイ ホロノ 一 特 調 Machine Elements and		八年)建文 Takefumi Otsu	0	0	0		2
			Tribology 北線形動力学株論	Machine Elements, Tribology, Contact Mechanics, Lubrication, Surface Damages	長屋 智之					
	32		非線形動力学特論	パターン形成動力学		0		0		2
				Dynamics of Pattern Formation	Tomoyuki Nagaya					
	33		静電気工学特論	静電気応用, 大気圧プラズマ, 放電ダイナミクス	金澤誠司	0	0	0	0	2
			Advanced Electrostatics	Applied Electrostatics, Atmospheric-Pressure Plasma, Discharge Dynamics	Seiji Kanazawa					
	34	電 気	磁性材料特論	軟質磁性材料,硬質磁性材料,磁気特性,複合材料	戸高 孝	0	0	0	0	2
		電	Advanced Magnetic Materials	Soft Magnetic Material, Hard Magnetic Material, Magnetic Property, Composite Material	Takashi Todaka		-			
	35	子 工	複雑系科学特論	カオス、フラクタル、同期、集団現象	末谷 大道	0	0			2
		学	Advanced Complex Systems	Chaos, Fractal, Synchronization, Collective Phenomena	Hiromichi Suetani	Ŭ	Ŭ			-
	36		応用電磁波特論	電磁界理論と計算機シミュレーション	工藤 孝人	0	0	0	0	2
	50		Application of Electromagnetic Waves	Electromagnetic Theory and Computer Simulation	Takato Kudou	Ŭ	0	0	0	2
7	37		電磁計測工学特論	電気電子計測, 電磁センサ, 金属材料	槌田 雄二		~		~	2
Materials	37		Advanced Electromagnetic Instrumentation Engineering	Electrical and Electronic Measurement, Electromagnetic sensors, Metallic materials	Yuji Tsuchida	0	0	0	0	2
als S	38		非線形電磁気工学特論	電磁非破壊検査	後藤 雄治		0	0		2
Science	30		Advanced Nonlinear Electromagnetic Engineering	Electromagnetic Non-Destructive Testing	Yuji Goto		0	0		2
ce ar			液体の物理学特論	液体の理論、シミュレーション	岩下 拓哉	_				
nd P	39		Liquid State Physics	Theory and Simulations of Liquids	Takuya Iwashita	0				2
and Production			応用フォトニクス特論	レーザー物理, 電気電子工学, 通信工学, 計測工学, 量子光学	片山 健夫					
ction	40	Εle	Applied Photonics	Laser Physics, Electrical and Electronic Engineering, CommunicationSystem	Takeo Katayama	0	0	0	0	2
Engi		lectrical	応用ナノエレクトロニクス特論	Engineering, Measurement Engineering, Quantum Optics ナノデバイス, ナノテクノロジー, ナノファブリケーション	大野 武雄				╉	
ngineering	41	al and	Advanced Nanoelectronics	Nanodevice, Nanotechnology, Nanofabrication	Takeo Ohno	0				2
g		Ξ	神経動力学系特論	神経細胞,力学系,分岐、興奮	加藤 秀行					
	42	lectronic	Neuronal Dynamical Systems	Neuron, Dynamical Systems, Bifurcations, Excitability	Hideyuki Katou	0	0	0		2
		nic En	プラズマ科学技術論	プラズマ物理, プラズマ応用, 材料プロセス	市來 龍大	-	_			
	43	ngine	Plasma Science: Basics and Latest Studies	Plasma Physics, Plasma Application, Material Process	Ryuta Ichiki	0	0	0	0	2
		gineering	先端半導体工学特論	パワーデバイス, 光センサ, 量子ナノ構造デバイス, 半導体材料, 半導体プロセス	大森 雅登					
	44	,	Advanced Semiconductor Physics and Applications	Power device, Optical sensor, Quantum nanostructures device, Semiconductor material, Semiconductor device fabrication	Masato Omori	0	0			2
			三次元電磁界解析法	material, Semiconductor device fabrication 電磁界理論, 数値モデリング	高 炎輝					
	45		Advanced Three-dimensional Electromagnetic Field Analysis	Fundamentals of Elctromagnetism, Numerical Modeling	Yanhui Gao	0	0	0		2
			先端的制御理論特論	非線形制御, 切替制御, 適応制御, 知的制御	髙橋 将徳					
	46		Advanced Control Theory	Nonlinear Control, Switching Control, Adaptive Control, Intelligent Control	Masanori Takahashi	0	0	0	0	2
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		1				

	1	八冊7	↓33 条 54 ┏	日子 コープ	4	D'	aler	n n c ^{l'}	<u> </u>) (1)
コース Division	番号·	分野 field	授業科目 Class Subject	研究課題のキーワード Keyword of the Research Theme	教員名 Instructors	Dip 1	ploma 2	a polie 3	cy 4	単位 Credit
Vivision		tield	Class Subject		Instructors	-	z	3	4	Gredit
	47		環境工学実習I	実際の問題や課題に対する問題解決能力や実践的能力を身に付けるために、本学産 学官連携推進機構あるいは公設及び民間の研究機関等において、指導教員の指導 のもとに一定期間所属講座に関連する専門分野の研究開発業務に従事する。	博士後期課程指導教員	0	0	0	0	2
			Advanced Practice in Environmental Engineering I		advising professor			1		
	48	コー ス 共	環境工学実習Ⅱ	実際の問題や課題に対する問題解決能力や実践的能力を身に付けるために、本学産 学官連携推進機構あるいは公設及び民間の研究機関等において、指導教員の指導 のもとに一定期間博士論文のテーマに直接関連する専門分野の研究開発業務に従 事する。	博士後期課程指導教員	0	0	0	0	2
		通	Advanced Practice in	ず 7 心 。	advising professor			1		
	49		Environmental Engineering II 環境工学実習II	企業における様々な技術課題を解決する実践的能力を養成するために、指導教員の 指導のもとに地域企業等の長期インターンシップを含む共同研究の場において一定期 間企業等の技術課題に関連する研究開発業務に従事する。	博士後期課程指導教員	0	0	0	0	2
			Advanced Practice in Environmental Engineering III		advising professor					
	50		建築材料特論	コンクリートの収縮ひび割れ、コンクリートの劣化、コンクリート用混和材料	大谷 俊浩					2
環	50		Advanced Building Materials	Drying shrinkage Cracking of Concrete, Deterioration of Concrete, Admixtures for Concrete	Tosihiro Otani	0	0	1		2
			建築構造工学特論	強度, 靭性, 応答	黒木 正幸					
境	51	建	Advanced Structural	Strength, Ductility, Response	Masayuki Kuroki	0		1		2
		築学	Engineering of Buildings 空間情報工学特論		小林 祐司				_	2
т	52	-	Advanced Spatial	Urban Planning, Urban Analysis, Park and Open Space, GIS, Disaster Reduction	Yuji Kobayashi	0	0	0	0	
			Information Engineering 建築環境システム特論		fuji Kobayashi 富来 礼次			\dashv	\dashv	
学	53		建築境境システム特論 Advanced Architectural	建築環境,数値解析,信号処理		0	0	0	0	2
			Environmental System	Architectural Environment, Numerical Computation, Signal Processing	Reiji Tomiku			\dashv	\dashv	
	54		木質構造設計特論	木質構造, 耐震設計, 木材接合法, 竹構造	田中 圭	0	0	0	0	2
			Advanced Structural Design of Timber Structures	Timber Structures, Seismic Design, Joint of Timber, Bamboo Structures	Kei Tanaka					
	55		住環境マネジメント特論	タウンマネジメント, エリアマネジメント, リノベーション, 街並み	柴田 建	0	0	, [0	2
	ມູ	⊳	Advanced Management of Living Environment	Town Management, Area Management, Rinovetion, Townscape	Ken Shibata	J	0		0	2
		Architecture	建築構造解析学特論	有限要素法,弾塑性解析,鋼コンクリート混合構造,	島津 勝	_			1	
	56	tect	Numerical Analysis of Buildings	Finite Element Method, Elastoplastic Analysis, Steel-Concrete Composite Structure	Masaru Shimazu	0		1		2
		ure	建築音響計画特論	建築音響、騒音制御、数値シミュレーション、音響計測	岡本 則子					
	57		Advanced Architectural	建末日音, 驗目前仰, 数値ジミュレージョン, 日音計測 Architectural Acoustics, Noise and Vibrarion, Numerical Simulation, Acoustic	间本 則于 Noriko Okamoto	0	0			2
			Acoustic Design	Measurement				\dashv	\dashv	
	58		地域計画設計特論 Advanced Regional Planning	地域計画,都市デザイン,拠点開発・建築設計,制度設計,景観マネジメント Regional Planning, Urban Design, Development and Architecture Design, System	姫野 由香 、	0	0	0		2
			and Design	Design, Landscape and Townscape Management	Yuka Himeno			\dashv	\dashv	
	59	情	代数学的情報特論 Algebraic Theory for	代数学,符号,有限体,離散幾何,有限単純群	田中 康彦	0				2
		報	Information Science	Algebra, Codes, Finite Fields, Discrete Geometry, Finite Simple Groups	Yasuhiko Tanaka					<u> </u>
	60	工 学	計算機数論特論 Advanced computational number theory	数論, 素数, 不定方程式, 楕円曲線 Number Theory, Prime Numbers, Diophantine Equations, Elliptic Curves	寺井 伸浩 Nobuhiro Terai	0	0	0	0	2
			rumber theory ヒューマンコンビュータインタラクション特論	ー ヒューマンコンピュータインタラクション, 協調作業支援, 高度情報検索	中島 誠					
	61		Advanced Human-Computer	Human-Computer Interaction, Computer Supported Collaborative Work,	Makoto Nakashima	0	0	1		2
			Advanced Information Retrieval 辛変関エデル キメディア加囲 フィクロナンフレー スピーカーアレー					_		
	62			0	0	0	0	2		
			Advanced Sound Space Modeling	Array	Ken'ichi Furuya 古日 刊山			\dashv	\dashv	
	63		非線形集団運動特論	自己駆動粒子、相転移、自律エージェント、人工生命	高見利也	0	0	0	0	2
п 5			Nonlinear Collective Motion	Self-Propelled Particles, Phase Transition, Autonomous Agent, Artificial Life	Toshiya Takami			$ \rightarrow $	\dashv	
	64		数值微分方程式特論	数値解析, 微分方程式, 誤差評価	吉川 周二	0	0	0		2
-			Advanced Numerical Analysis for Differential Equations	Numerical Analysis, Differential Equations, Error Estimate	Shuji Yosikawa			\square		
	65		ディジタルシステム高信頼化特論	論理設計、テスト生成、テスト容易化設計、故障診断、フィールドテスト	大竹 哲史	0	0	0	0	2
			Advanced Reliable Digital System Design	Logic Design, Test Generation, Design-for-Testability, Fault Diagnosis, In-Field Test	Satoshi Ohtake	Ĵ	Ĵ	Ĵ	Ŭ	-
	60	'n	リー群論特論	微分幾何学, リー群論	坊向 伸隆	~				~
- ⊓	66	form	Theory of Lie Groups	Differential Geometry, Theory of Lie Groups	Nobutaka Boumuki	0				2
3. 5 0		Informatior	情報システム特別講義		大竹哲史·畑中裕司·				╡	
Energy and Environmental Engineering	67	C	Special Topics in Information Systems	Dependable Computing, Computer Aided Diagnosis, Programming Languages Design	紙名哲生 Satoshi Ohtake Yuji Hatanaka Tetsuo Kamina	0		0		2
			知能システム特別講義	人工知能、知識推論、データマイニング、データサイエンス、知能システム	高見 利也·中島 誠				\neg	
	68		Special Topics in	Artificial Intelligence, Knowledge Inference,	Toshiya Takami	0	0			2
	\square		Intelligent Systems	Data Mining, Data Science, Intelligent Systems	Makoto Nakashima			\dashv	\dashv	
	69		非線形積分特論 Advanced Theory of Nonlinear	単調測度(ファジィ測度), 非線形積分, 収束定理, k-加法性 Monotone Measure (Fuzzy Measure), Nonlinear Integral, Convergence Theorem, K-	福田 亮治	0	0			2
			Integrals	additivity	Ryoji Fukuda			\square		
	70		非線形解析学特論	非線形解析学,偏微分方程式,保存則,勾配流	渡邉 紘	0				2
			Nonlinear analysis	Nonlinear analysis, Partial differential equation, Conservation laws, Gradient flow	Hiroshi Watanabe			\dashv	\dashv	
	71		画像情報処理特論 Advanced Image Information	画像分類, 異常検出, 領域分割, 画像解析, 医用画像処理 Image Classification, Anomaly Detection, Segmentation, Image Analysis, Medical	畑中 裕司	0	0	0	0	2

コース	番号	分野	授業科目	研究課題のキーワード	教員名		Diploma policy		су	単位
Division	留万	field	Class Subject	Keyword of the Research Theme	Instructors	1	2	3	4	Credit
環境	72	2	減災システム特論	防災•減災, 土木工学, 空間情報, 多重防御	鶴成 悦久	0	0	0	0	2
工 学	,2	情	Advanced Disaster Risk Reduction System	Disaster Risk Reduction, Civil Engineering, Geospatial Information, Multiple Defense	n, Multiple Defense Yoshihisa Tsurunari		J			
Energy		報工	地盤減災工学特論	地盤工学, 地盤防災, 地盤環境, リスクマネージメント	山本 健太郎					
and	73		Advanced Geotechnical Engineering for Disaster Mitigation	Geotechnical engineering, Geotechnical disaster prevention, Geotechnical environment, Risk management	Kentaro Yamamoto	0	0	0	0	2
Environme			言語高度化特論	プログラミング言語, ソフトウェア工学, 言語設計, 形式化, 安全性	紙名 哲生					
nmental	74	Inforr	Advanced Programming Language Design	Programming Languages, Software Engineering, Language Design, Formalization, Safety	Tetsuo Kamina	0				2
Engine		mation	非線形発展方程式特論	非線形発展方程式,非線形偏微分方程式,多価作用素,エネルギー汎関数	内田 俊					
neering	75	n	Advanced Theory of Nonlinear Evolution Equation	Nonlinear Evolution Equation, Nonlinear Partial Differential Equation, Set∽valued Operator, Energy Functional	Shun Uchida	0	0	0	0	2

Fall Admission

(October 2024)

1. Entrance Examination Schedule

Application Period	July 29 (Mon), 2024 – August 5 (Mon), 2024
Examination Date	August 23 (Fri), 2024 – August 30 (Fri), 2024
Announcement of Results	September 18 (Wed), 2024

2. Admission Quotas

D	Admission Quota
Division	for October 2024 Admission
Materials Science and Production Engineering	A few
Energy and Environmental Engineering	A few

* Quotas for both divisions include successful candidates under Admission for Working Adults. * A few successful international candidates will be accepted under Admission for International Students, while the private-expense international students are included in General Admission capacity.

3. Admission Eligibility

Individuals who satisfy any one of the following conditions shall be eligible to apply.

- (1) Persons who have obtained, or are expected to obtain a master's degree or a professional degree in Japan by September 2024.
- (2) Persons who have obtained, or are expected to obtain a degree equivalent to a master's degree or a professional degree in a foreign country by September 2024. See Note 1 below.
- (3) Persons who have completed, or are expected to complete a graduate program in a foreignaffiliated university within a school educational system of a foreign country designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology in Japan; limited to those who have obtained, or are expected to obtain a degree equivalent to a master's degree or a professional degree by September 2024.
- (4) Persons who have completed, or are expected to complete by September 2024, a degree equivalent to a master's degree from the United Nations University (hereinafter U. N. University) which was promulgated by the General Assembly of the United Nations on December 11, 1972 and in accordance with the Agreement between Japan and the United Nations concerning the Act on Special Measures Incidental to Enforcement of the Agreement between the United Nations and Japan regarding the Headquarters of the U. N. University (1976, Resolution 72, Article 1, Item 2).
- (5) Persons who have completed the curricula at a foreign university, an educational institution which is designated as in (3) above or the U. N. University and are recognized as having academic abilities equivalent or superior to those of a holder of a master's degree by passing the examination and screening which are equivalent of the ones stipulated in Article 16, paragraph (2) of the Standards for Establishment of Graduate Schools.
- (6) Persons who have graduated from an undergraduate program at a university in Japan or completed 16 years of formal education in another country and subsequently spent two or more years engaged in research at a university, institute, or similar organization, and, on the basis of the outcome of that research, are recognized by the Graduate School of Engineering, Oita University as having academic abilities equivalent or superior to those of a holder of a master's degree or a professional degree. See Note 2 below.

(7) Persons who are 24 years of age or older and are recognized by individual eligibility screening by the Graduate School of Engineering, Oita University as having academic abilities equivalent or superior to those of a holder of a master's degree or a professional degree. See Note 3 below. Note 1:

Eligibility under this condition extends to those who have been awarded a degree comparable to a Japanese master's or professional degree by taking prescribed courses within Japan which are offered by means of distance education by an educational institution of another country.

Note 2:

Condition (6) is for those who have not completed a Japanese master's degree but have spent two or more years engaged in research at a university, research institute or similar organization. Such applicants are screened individually by the graduate school to which they seek admission on the basis of their research performance, and may be permitted to apply for admission to the graduate school's Doctoral Program if they are judged to possess academic abilities equivalent or superior to those of a holder of a Japanese master's or professional degree. Below, this process is termed "Application Eligibility Screening."

Note 3:

Condition (7) is for those who are not qualified to graduate from an undergraduate degree program but have graduated from a junior college, college of technology, specialized training college or miscellaneous school or completed a course of study at another educational facility, and are aged 24 years or over. Such applicants may be permitted to apply for admission to the graduate school's Doctoral Program following Application Eligibility Screening.

* If you apply under condition (6) or (7), or if you have any other concerns about your eligibility, please contact the Entrance Examination Division before filing your application. For procedures relating to the recognition of application eligibility, please refer to "Application Eligibility Screening for the Doctoral Program, Graduate School of Engineering, Oita University" on page 27.

4. Examination Type

The different processes for selection of applicants for admission are listed below along with eligibility requirements for each.

(1) Examination for General Admission

Open to persons eligible under condition (1), (2), (3), (4), (5), (6) or (7) in "3. Application Eligibility" above who do not wish to take the Examinations for Admission for Working Adults or International Students.

- (2) Examinations for Special Admission
 - (a)Examination for Admission for Working Adults Open to persons who meet any one of the following requirements and wish to take the Examination for Admission for Working Adults.
 - Those eligible to apply under condition (1), (2), (3) or (4) who, following graduation from university, have been working for two or more years as a regular employee of a company or other organization, and wish to be admitted while retaining their current post.
 - Those eligible to apply under condition (6) who, following graduation from university, have been working for four or more years as a regular employee of a company or other organization (including the two or more years engaged in research as required under condition (6)), and wish to be admitted while retaining their current post.
 - Those eligible to apply under condition (7) who, following graduation from the school or college concerned, have been working for four or more years as a regular employee of a company or other organization, and wish to be admitted while retaining their current post.
 - (b) Examination for Admission for International Students Open to non-Japanese nationals residing in Japan or seeking to reside in Japan with the resident status of "College Student" as stipulated in Annex 1 of the Immigration Control and Refugee Recognition Act, who wish to take the Examination for Admission for International Students.

5. Application Procedure

(1) Application Period

Please submit your application between 9:00 and 17:00 on any weekday from Monday, July 29 to Monday, August 5, 2024.

Applications sent by mail must be received by 17:00 on Monday, August 5, 2024. (2) How to Apply

- (a) If you wish to apply, please discuss your research plans in advance with your preferred supervisor in your major of choice.
- (b) Please ensure that you have all of the application documents listed below in order, and

submit them in person or by postal mail. If you are submitting by post, please be sure to use the envelope provided and send your documents by registered special delivery. Address for submission: Entrance Examination Division, Student Affairs Department, Oita University

700 Dannoharu, Oita-shi, Oita-ken 870-1192, JAPAN

(3) Application Documents.
 © Examination for General Admission

Application Form and	Please complete the required sections and attach a recent photograph (4 cm
Examination Voucher	[height]×3 cm [width], head-and-shoulders, facing front, plain background,
	no hat or sunglasses, etc) to the designated area on the form.
Certificate of	This must be a certificate issued by the President (or Dean) of the university
(Expected)	you attended.
Completion	(Not necessary for applicants who are expected to complete the Master's
	Program in this Graduate School in September 2024.)
Academic Transcripts	This must be issued in a sealed envelope by the President (or Dean) of the
	university you attended.
Abstract of	Please provide an abstract of 700 words or less in English (or 2,000 characters
Master's Thesis	or less in Japanese) using the designated form.
	If you have not yet completed your master's program, you should instead
	provide the title of your Master's thesis and a summary of your research
	progress to date.
	Please attach copies of any academic papers, lectures, patents or other
	materials associated with your master's thesis.
Statement of	Please provide a statement of 500 words or less in English (or 1,000 characters
(Intended)	or less in Japanese) concerning the aims and concepts of the research topic or
Research Plans	field you wish to address using the designated form. This statement should be
	written in consultation with your preferred research supervisor.
Proof of payment of	Please remit the payment to the designated bank account, using one of the
the Application Fee	following methods:
(30,000 yen)	(a) Payment at a Japan Post Bank or other financial institution within Japan
•	Take the remittance form provided to a Japan Post Bank or other financial
	institution within Japan and complete payment procedures as directed.
	(b) Payment at a convenience stores within Japan
	Please access the dedicated payment page via the university website
	https://www.oita-u.ac.jp/ or directly at the URLs below, and
	follow the instructions to complete your payment.
	Regular URL for payment: https://www.oita-u.net/
	Mobile telephone URL for payment: https://www.oita-
	u.net/mobile/
	After you have paid the Application Fee, please affix proof of payment securely
	below the Examination Voucher. If you paid by method (a) above, the proof of
	payment is the Post Bank Payment Receipt (for submission to the university).
	If you paid by method (b) above, it is the certificate of payment (or receipt in
	some cases) issued by the convenience store. All processing fees are to be borne
	by the applicant.
	Please note that the requirement to pay the Application Fee is waived for
	Japanese Government Scholarship recipients (excluding those recruited
	inside Japan), and for students completing a Master's Program in this
	Graduate School in September 2024 who wish to continue their studies in the
	Doctoral Program,
Return Envelope for	Please write your name and full address, including postal code, on the
recurn Envelope for	i lease write your name and run address, including postal code, on the
Examination Voucher	envelope provided, and attach 344 yen worth of postage stamps. When postal

	rates change, please affix stamps to the value of the new express mail rate.				
Address Label for	Please complete the label form provided.				
Sending Results					

Note 1: If you are applying on the basis of eligibility condition (6) or (7) and you do not currently hold a master's degree, you do not need to submit the Certificate of Completion, Academic Transcripts, or Abstract of Master's Thesis.

Note 2: All certificates must be originals. Copies will not be accepted.

 \odot Examination for Admission for Working Adults

Please submit the following documents in addition to those listed in the Examination for General Admission section on page **23** of this guide.

Work History (Part 1 : Work Details)	Please use the designated form to describe your work duties and
Work History (Part 2 : Papers, presentations, patents, etc.)	your research activities in wider society, including as academic papers, research presentations, authored works, patents and utility models.
Enrollment Authorization	This must be produced on the designated form by the head of the division in which you work.

© Examination for Admission for International Students Please submit the following documents in addition to those listed in the Examination for General Admission section on page **23** of this guide

General Admission section on page 23 of this guide.				
Certificate of Items Stated in Resident Register	One original copy which includes visa status and period of permitted residence (you must request that this information be shown on the Card at the time you get it issued). A photocopy of both sides of your Residence Card or Alien Registration Certificate is also acceptable. If you cannot submit this on time at the time of application, submit a copy of your passport (the page with your photo) and then submit this certificate by the time of enrollment.			
Certification of Japanese Government Scholarship	If you are an international student who is receiving the Japanese Government Scholarship, please attach a certification to that effect. (There is no designated format for this certification; it must be provided by the division administering your scholarship in the university you attend.)			

6. Screening Method

(1) Methods for screening applicants

(a) Examination for General Admission

Applicants will be examined by means of an academic examination and a review of submitted documents.

The academic examination consists of a written exam and an interview.

(b) Examination for Special Admission for Working Adults

Applicants will be examined by means of an academic examination and a review of submitted documents.

The academic examination consists of an interview.

(c) Examination for Special Admission for International Students

Applicants will be examined in accordance with the procedures for General Admission. (2) Contents of the Written Exam

- Specialist subjects (fundamental subjects in the applicant's preferred research area)
- (3) Contents of the Interview
 - (a) Interview for General Admission

Applicants will be tested and questioned on matters including their master's thesis (or research progress in the case of those who have not yet completed a master's course), topics related to their preferred research areas, and plans for research after admission.

(b) Interview for Admission for Working Adults

Applicants will be tested and questioned on matters including specialist topics related to their preferred research areas, research achievements and plans for research after admission. They will also be questioned about their Statement of Research Plans and Work History.

(c) Interview for Admission for International Students

The interview will be carried out in accordance with the interview for applicants for General Admission.

- (4) Date and Venue for the Academic Examination
- (a) Date and time for the academic examination

(i) Examinations for General Admission and for Special Admission for International Students

Date	Exam Type	Exam Time	
One specified date between Friday, August 23, 2024 and Friday, August	Written Exam	9:00 - 12:30	
30, 2024.	Interview	13:30 -	

Note 1: Please consult with the prospective advising professor about the exam date.

- Note 2: The exam time is subject to change.
- Note 3: Applicants who are expected to complete the Master's Program in this Graduate School in September 2024 are not required to take the written exam.
- Note 4: Applicants who cannot visit Japan to take on-campus entrance examinations may be offered the opportunity for oral exams through the Internet only when they consult their prospective advising professor in advance and obtain permission from the Graduate School.

(ii) Examination for Admission for Working Adults

Date	Exam Type	Exam Time
One specified date between Friday, August 23, 2024 and Friday, August 30, 2024		13:30 -

Note 1: Please consult with the prospective advising professor about the exam date. Note 2: The exam time is subject to change.

(b) Exam Venue: Faculty of Science and Technology, Oita University 700 Dannoharu, Oita-shi, Oita-ken, Japan

7. Announcement of Results

The results of screening will be posted on the Oita University website (https://www.oita-u.ac.jp/),

at 10:00 on Wednesday, September 18, 2024. Successful candidates will also be sent the letter of acceptance by postal mail.

Telephone inquiries regarding results will not be accepted under any circumstances.

Succesful candidates who satisfied (1), (2) or (3) of "3.Admission Eligibility" when applying for admission, and who are expected to obtain a master's degree or a professional degree (including degrees equivalent to the above), are required as an entry requirement for admission to submit the certificate of completion within the period of enrollment procedure. Otherwise, those candidates will not be accepted to graduate school.

8. Enrollment Procedure

Successful candidates will be sent necessary instructions on enrollment procedure together with the Letter of Acceptance.

9. Enrollment and Tuition Fees

Enrollment Fee: 282,000 yen

Note: The requirement to pay the Enrollment Fee is waived for Japanese Government Scholarship recipients (excluding those recruited inside Japan), and for students completing a Master's Program in this Graduate School in September 2024 who wish to continue their studies in the Doctoral Program.

- Annual Tuition Fee: 535,800 yen (first semester installment 267,900 yen; second semester installment 267,900 yen)
 - Note 1: There are schemes in place for exemption, deferred payment and loan of Enrollment Fee and for exemption and loan of Tuition Fees. Application procedures must be completed during the enrollment procedure period. For details, please inquire with the Student Assistance Group Division's Scholarship Support Division (Tel: +81-(0)97-554-7386).
 - Note 2: The Enrollment Fee and Tuition Fee amounts are subject to revision. If the Tuition Fee is revised while you are enrolled at the University, you will be required to pay the new amount.
 - Note 3: The enrollment fee already paid will not be returned for any reason.
 - Note 4: In applying for the exemption or deferment of enrollment fee, please submit the application during the enrollment procedure period, instead of paying it. But when you withdraw from admission after completing enrollment procedure, you have to pay for the enrollment fee immediately.
 - Note 5: Japanese Government Scholarship recipients (excluding those recruited inside Japan) do not need to pay tuition fees.

10. Important Notes

- (1) Applicants taking the written exam for General Admissions or Admissions for International Students should assemble at the Student Affairs Section of the Faculty of Science and Technology by 8:40 on the day of the exam.
- (2) Incomplete application documents will not be accepted.
- (3) Application documents and Application Fee will not be returned or refunded under any circumstances after they have been received.
- (4) You may use a computer or word processor to print your responses on the designated forms.
- (5) For each of the following documents, rather than using the original designated form, you may submit a document produced on a computer or word processor in the same format as the designated form: Abstract of Master's Thesis, Statement of (Intended) Research Plans, Work History (for Admissions for Working Adults), Enrollment Authorization (for Admissions for Working Adults), Applicant Eligibility Screening Request (for applicant eligibility screening), Applicant Eligibility Screening Information Form (for applicant eligibility screening), Statement of Research Achievements (for applicant eligibility screening). Electronic versions of the designated forms above are available for download from the Oita University website in Microsoft Word for Windows format. For details, please contact the Entrance Examination Division (Tel: +81-(0)97-554-7006).
- (6) All personal information contained in application documents submitted by applicants will be handled in accordance with the Act on the Protection of Personal Information and the Oita University Personal Information Protection Policy. Such information will only be used in work associated with the selection of applicants for admission and incidental work such as statistical processing, and in screening processes for those who have applied for Enrollment Fee and Tuition Fee exemptions (or deferred payment) and scholarships.
- (7) Applicants found to have included false information in their applications may have their admission invalidated, even if they have already enrolled.
- (8) When your current name is different from the one on attached documents due to family name change, you should submit a copy of the extract of family register.
- (9) Information regarding special considerations related to a natural disaster (concerning application fee, etc.) shall be posted on the university website. (<u>https://www.oita-u.ac.jp/</u>)

Information for all Applicants

Applicant Eligibility Screening

Long-term Study System

Advance Consultation for Applicants with Disabilities, etc.

Childcare Support Subsidy

Education and Research Areas in the Doctoral Program

Oita University Location and Campus Map

Application Eligibility Screening

- 1. If you have not obtained a master's degree and are applying under eligibility conditions (6) or (7) of page **20** of Admission Application Guide, you will need to undergo an Application Eligibility Screening by the Graduate School of Engineering prior to submitting your formal application. After contacting the Entrance Examination Division to discuss your case in advance, please prepare an Application Eligibility Screening Request, Application Eligibility Screening Information Form, Statement of Research Achievements, certificate of graduation and one copy or separate printing of each of your research papers, etc., and submit these documents to the Entrance Examination Division during the following period of time. (Copies and separate printings of research papers, etc. will be returned to you later). Electronic versions of the Application Eligibility Screening Request and other designated forms are available for download from the Oita University website in Microsoft Word for Windows format. For details, please contact the Entrance Examination Division (telephone 097-554-7006). Monday, July 1, 2024 Friday, July 5, 2024
- 2. You will be notified of the results of your Applicant Eligibility Screening by Monday, July 22, 2024.
- 3. Please do not start the formal application process until you have received the results of your Applicant Eligibility Screening.

Long-term Study System

Working adults and others admitted to the Doctoral Program in the Graduate School of Engineering, Oita University may be permitted to make use of the Long-term Study System.

This system allows students who find it difficult to study full-time at the university due to work commitments or other special circumstances to remain enrolled in excess of the standard term of completion (3 years for the Doctoral Program), undertaking an organized course of study and completing the Program in their preferred term, which can be anything between 3 years 6 months and 6 years. Tuition Fees are calculated on a pro rata basis in accordance with the term involved. The following students are eligible for the Long-term Study System:

(i) Working Adult students

(ii) Students admitted by the Dean of the Graduate School to have special need to access the system

If you wish to make use of this system, you will need to apply when completing enrollment procedures or within one year after enrolling.

Advance Consultation for Applicants with Disabilities, etc.

Individuals with disabilities and other special needs who wish to gain admission to the university and may require special consideration in entrance examinations and study after enrollment should prepare a letter (no designated format) outlining the following matters. This letter should be submitted to the Entrance Examination Division by Monday, August 5, 2024, accompanied by a medical certificate.

- The nature and extent of the disability
- Form of special consideration requested during the entrance examination process
- · Form of special consideration requested while studying at the university
- · Everyday living conditions and/or any other pertinent information

Childcare Support Subsidy

To support students in balancing childcare and academic work,Oita University will pay a portion of the cost of childcare support services.

For more details, please contact the Gender Equality Promotion Office (TEL 097-554-8573, E-mail fsupport@oita-u.ac.jp) .

Education and Research Areas in the Doctoral Program

Outline of the Majors

[Division of Materials Science and Production Engineering]

In this program we examine materials as basic functional elements constituting our contemporary society. We conduct research and carry out educational activities to gain an understanding of the functions of materials and development of production techniques, as well as technology for the generation and processing of the various types of data associated with these materials.

Progress in science and technology to date has been sustained by the discovery of new materials and the development of better techniques for producing them. The identification and efficient production of materials with novel applications has operated in turn to generate new technology, enabling mass production and fueling advancements in industry. The demand for materials for use in frontier technology fields has been intensifying in recent years. As a result, we need to develop creative production techniques that use ideas and approaches different from those employed to date. Henceforth, rather than treating each stage of the development process separately, we must conceive systems that incorporate everything from the design of materials with new functions, through manufacturing technology to realize these functions, to production processes that make high-quality mass production possible. Education and research in this division addresses these issues of new materials development, production techniques and systematization.

The three major fields in the Division of Materials Science and Production Engineering are as follows.

○ Applied Chemistry

In this major field students will study the synthesis and identification of functionality of highfunctional materials that hold the key to future technological innovation. This includes the realization of advanced functionality for existing inorganic, organic and macromolecular materials and combinations thereof, the synthesis, design and evaluation of new ceramics, magnetic materials and other new substances as well as energy conversion materials, and the relationships between the structure and function of materials. This includes the construction, design, and evaluation of biological and biomimetic materials.

O Mechanical Engineering

In this major field we study a broad range of topics in mechanical engineering, the field that has become the indispensable backbone of Japan's creative and craftsmanship-inspired industries, with emphasis on four core disciplines: strength of materials dynamic of machinery, fluid dynamics, and thermodynamics. In order to meet the needs of the industrial business world, with this course of study we aim to nurture highly-skilled and highly-adaptable technical experts.

○ Electrical and Electronic Engineering

In this major field we study in the fields of electricity, energy, electronics, information and communications, and electronic device materials, which are all vital disciplines for the further development of our advanced information-based society. Topics covered include leading-edge developments in magnetic materials, dielectric materials development, efficient energy generation, transportation and storage development, plasma discharge measurement and control, superconductivity applications for energy storage, high-temperature heat transfer and its control in combustion and thermal flow, high-speed optical communication, and semiconductor materials development and evaluation. Research in these fields involves complex systems comprised of

nonlinear elements, and as such in this major field we will also study the fundamental mathematical sciences of nonlinear system measurement, analysis and control.

[Division of Energy and Environmental Engineering]

The aim of education and research of the programs in this department is to gain an understanding of the environmental impacts of human activities. The focus of these programs is to investigate the relationship between energy and environment, planning and design of livable environments, information systems to control environments, and support for intellectual activity.

The increase in industrial production activity along with advances in science and technology has brought rapid changes to our environment in which humans live. Our environment was previously thought to have an infinite capacity to absorb this production activity; but now, we are beginning to feel serious environmental effects on a global scale, underlining the pressing need for a more harmonized approach to development. On the other hand, the demand for more comfortable living environments is growing in line with advances in living standards and the rise of the information society. In order to address these social needs, rather than relying on simple problem-solving approaches, we need to adopt approaches based on ergonomics and information and systems science to create agreeable natural environment that are balanced with man-made environments. In this department the main goal of education and research concerning environmental issues from the standpoints of human environments and environmental information.

The two major fields in the Division of Energy and Environmental Engineering are as follows.

\bigcirc Architecture

Topics in this major field includes the design of amenable living environments, housing and facilities planning to realize improvements in the welfare environment, structural and earthquake-resistant design, construction materials and building technology, city-wide environmental planning, and the relationships between environments and resources.

○ Environmental Information

On the basis of mathematical analyses of information structures, we seek out associative and collaborative applications of information through high-speed networks. We will make use of control technologies of parallel computation systems to support intellectual human activities and to construct information-oriented societies. Working in close connection with every field of study and research, we will aim to consider various kinds of information not a collection of individuals but a system of interaction.

*Please refer to "Class Subjects and Keywords of the Research Themes in Doctoral Program" on page 16.

大分大学位置図及び学内案内図



大分バス 中央通り [1番のりば] 又はJR大分駅府内中央口(北口) [大分駅前3番又は4番のりば]から ○「大莆団地(嵩江ニュータウン)」行きを利用(約40分)、「大分大学」又は「大分大学正門」下車 ○「戸次、臼杵、佐伯」行きを利用(約40分)、「大分大学入口」下車、徒歩約10分 (詳細は時刻表で確認してください。)

(Transportation from Downtown)

- (1) Train : At Oita Station, change to the JR Hohi Line from the JR Nippo Line and get off at Oitadaigakumae Station. The faculty of Science and Technology (Rikogakubu) is about a 15 minutes walk.
- (2) Bus : Take a city bus for Dainandanchi at Oita Station Bus Terminal 3 and get off at Oita Daigaku (one way, about 40 minutes). Any bus bound for Saiki, Usuki, Taketa, and Hetsugi is also available from the same bus stop to Oita Daigaku Iriguchi (one way, about 40 minutes. The faculty of Science and Technology(Rikogakubu) is a 15 - minutes walk from the bus stop you get off.
- (3) Taxi : A taxi from Oita Station takes about 25 minutes and costs about 2,500 yen.



問い合わせ先

出願にあたって不明な点等があった場合は、下記に問い合わせてください。 〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地 大分大学 学生支援部入試課

TEL 097-554-7006

Inquiries

Please contact below if you have any questions or concerns about the application process.

Entrance Examination Division, Student Affairs Department, Oita University 700 Dannoharu, Oita-shi, Oita-ken 870-1192 Japan Telephone 097-554-7006

この募集要項の内容はホームページ(https://www.oita-u.ac.jp/)にも掲載されています。 This Admissions Application Guide is also published on the university website: https://www.oita-u.ac.jp/